

主な新規・拡充事業

目次

I 輝く子どもたちの未来を創る

- ▶ 切れ目のない子育て支援 P.34
- ▶ 子育てしやすい環境の整備 P.35
- ▶ 神戸市教育大綱等による学校教育の充実 P.37

II 健康・安全を守る

- ▶ 健康創造都市KOBEの推進 P.40
- ▶ 高齢者や障害者の方への支援 P.42
- ▶ 暮らしの安心と貧困の連鎖防止 P.45
- ▶ 自然と環境を守る P.46
- ▶ 災害に強い都市づくり P.48

III 街と地域を創る

- ▶ 新たな都市活力の創造 P.50
- ▶ 地域における交通利便性の確保 P.56
- ▶ 地域における協働の推進 P.57
- ▶ 芸術・文化・スポーツを楽しむまちづくり P.58

IV 神戸経済を伸ばす

- ▶ 中小企業等の経営基盤の強化 P.60
- ▶ 東京での新たなプロモーションの展開 P.62
- ▶ 革新的な起業・創業支援、成長産業の集積 P.63
- ▶ 「食都神戸2020」の推進 P.64
- ▶ 市場機能の強化 P.64
- ▶ 集客観光施策の強化 P.65

V 陸・海・空の拠点を創る

- ▶ 陸海空の広域交通結節機能の強化 P.67
- ▶ 都心三宮・ウォーターフロントの再整備 P.68

VI 市政改革を進める

- ▶ 現場対応力の強化による市民サービスの向上 P.72
- ▶ ICT等を活用した業務革新・働き方改革の推進 P.73

保育定員の拡大

31年度予算額	18億76百万円
30年度2月補正予算額	16億52百万円

◆〈拡充〉 待機児童解消対策の強化 3,276,299千円 [うち30年度2月補正:1,587,239千円]

保育所等の整備による保育定員の拡大：+1,200人

◆《新規》 新たな保育定員確保対策 252,122千円 [うち30年度2月補正:65,083千円]

- ・ 保護者が送迎に使った車を駐車したまま電車で通勤できるパーク&ライド型保育所を整備
- ・ 駅前等の利便性の高い場所に保護者の送迎拠点となる保育送迎ステーションを設置
- ・ 公有財産（区役所庁舎や旧公立幼稚園舎等）を活用し、保育定員を拡大



保育人材の確保策の充実

31年度予算額	10億17百万円
30年度2月補正予算額	1億50百万円

◆《新規》 保育士の負担軽減 155,200千円 [うち30年度2月補正:150,200千円]

- ・ 最先端のICT機器を活用し、モデルとなる保育園等において、保育士等の業務負担軽減・効率化の検証を実施
- ・ 煩雑となっている保育周辺業務（登降園管理など）効率化のため、保育園のICT化費用を補助
- ・ 午睡チェック補助機器の導入費用を補助し、安全安心な保育環境を確保

◆《新規》 奨学金返還支援 69,300千円

市内在住の1～7年目の保育士に対し、月5,000円を補助（7年間で最大42万円）

◆ 保育人材確保・定着への支援 942,695千円

- ・ 1～7年目の保育士に対し、人材確保・定着をはかるため、一時金を支給（7年間で最大160万円）
- ・ パート職員として復職する潜在保育士に対して、一時金を支給（10万円）等



子育て環境の充実

31年度予算額
7億60百万円

- ◆ 《新規》 地域子育て支援拠点の整備 190,813千円
親子が気軽に集える地域子育て支援拠点を公共施設内（区役所等）に整備
- ◆ 〈拡充〉 病児保育施設の増設 26,374千円
新たに病児保育施設を2カ所整備（16カ所→18カ所）
- ◆ 医療的ケア児の保育所・幼稚園等での受け入れ 46,107千円
医療的ケアが必要な児童の受け入れを5カ所で実施
- ◆ 〈拡充〉 学童保育の充実 290,399千円
 - ・利用者数の増加に対応するため、学童保育施設を5カ所整備
 - ・障害児受け入れ時の支援員の追加配置にかかる加算を拡充し、障害児の見守り体制を強化
- ◆ 市営駐輪場における幅広駐輪エリア(ママフレエリア)の設置 10,000千円
チャイルドシート付き自転車の利便性向上のため、幅広の駐輪エリアを設置
- ◆ 〈拡充〉 子どもの遊び場拠点の整備 196,000千円
魅力ある大規模遊具や屋根付き広場等を整備（湊川公園、鈴蘭公園）



子育て世帯の経済的負担の軽減

31年度予算額
44億10百万円

- ◆《新規》 新生児聴覚検査費用の助成 35,881千円
新生児聴覚検査に要する費用を助成（上限5,000円）
- ◆〈拡充〉 産前ホームヘルプサービスの創設 11,638千円
産後ホームヘルプサービスの対象者を産前まで拡大
- ◆《新規》 任意予防接種費用助成の拡充 70,819千円
 - ・インフルエンザ：1～12歳児の1回目の接種に対し、1,360円/年の助成額を2,000円/年に拡充
 - ・ロタ・おたふくかぜ：2019年4月以降の出生児が3歳になるまでの間、ロタまたはおたふくかぜワクチンの接種に対し、2回まで助成（上限2,000円/回）する制度を創設
- ◆〈拡充〉 幼児教育・保育の無償化 3,949,662千円
3～5歳児及び住民税非課税世帯の0～2歳児についての幼稚園、保育園、認定こども園等の費用を無償化
- ◆〈拡充〉 地下鉄通学定期割引率の拡大 237,108千円
地下鉄通学定期券に「大学生」「中学生・高校生」区分を新設し、あわせて割引率を拡大
- ◆《新規》 子育て支援家賃補助制度の創設 34,614千円
子育て世帯が住み替えた場合の家賃補助を実施
（10,000円/月（住宅セーフティネット制度登録住宅の場合15,000円/月）、最大3年間）
- ◆《新規》 子育て支援リノベーション住宅取得補助制度の創設 27,400千円
子育て世帯が中古住宅を取得した場合のリノベーション費用を補助
（補助率：1/2、上限：50万円（市外転入の場合70万円））



◆ **高校生通学費助成(北神急行)** 30,000千円

北神急行を利用する高校生に対して通学定期券購入費の一部を助成(学期定期:5,000円、6ヵ月定期:10,000円 等)

◆ **市営駐輪場の料金減免** 12,787千円

未就学児のいる子育て世帯を対象に、1世帯2名まで駐輪場利用料金を半額に減免



I. 輝く子どもたちの未来を創る (3) 神戸市教育大綱等による学校教育の充実

児童生徒の学力向上

31年度予算額
4億30百万円

◆ **《新規》 ICT環境整備** 119,107千円

2021年度までの3ヵ年で全校の普通教室に電子黒板・無線LAN等を整備

◆ **〈拡充〉 学校司書の配置拡充** 302,160千円

図書を使った調べ学習の支援、読書相談等を行う学校司書について、全小中学校へ配置を拡充: +30人(120人→150人)

◆ **〈拡充〉 「スマートスマホ都市KOBЕ」の推進** 8,500千円

スマホ依存防止のため、啓発アニメ動画を作成し、スマホ3ヵ条の普及・啓発を実施 等



電子黒板を活用した授業

教員の多忙化対策

31年度予算額
5億55百万円

- ◆《新規》 神戸市情報教育基盤サービス再構築 480,000千円
さらなるセキュリティ向上・教員多忙化対策として、教員用端末・教育用端末等を更新
- ◆〈拡充〉 中学校部活動における外部人材の活用 75,475千円
顧問教員に代わって単独で部活動の運営が可能な外部顧問・外部支援員の配置を拡充



学びの環境整備

31年度予算額
22億35百万円

- ◆〈拡充〉 学校給食の魅力向上 1,095,430千円
・ランチボックスのリニューアル等により、中学校給食のイメージ・魅力を向上
・中学校給食の抜本改革に向けて、人気メニューの充実や献立内容の改善等を検討
・給食レシピ集の発行やアプリを活用し、神戸の給食の魅力を発信
- ◆〈拡充〉 小学校の過密化対策等 912,640千円
児童数の増加及び校舎の老朽化に対応するため、本校舎・暫定校舎等を整備
(高羽小、垂水小、妙法寺小、山の手小、本山第一小等)
- ◆〈拡充〉 学校規模の適正化等 226,654千円
小規模校の課題に対応するため、適正規模となるよう、統廃合により教育環境を改善 等
(有野台小・有野東小、本多間小・多間南小等)



療育体制・特別支援教育等の充実

31年度予算額
2億33百万円

◆〈拡充〉 障害児支援の強化 31,123千円

- ・ 西部療育センターの作業療法室の増設及び実施体制の強化
- ・ 障害児通所支援事業の適切な運営のため、実地指導・監査体制を強化
- ・ 事業所の自己評価公表ページに容易にアクセスできるポータルサイトの作成・運営

◆〈拡充〉 児童虐待防止 38,860千円

- ・ こども家庭センターへ常勤の弁護士を新規で配置し、虐待等への対応体制を強化
- ・ 地域と児童相談所をつなぐ児童家庭センターを1カ所増設(2カ所→3カ所)
- ・ 民間支援団体が実施するDV被害者支援活動に対する助成を拡大

◆《新規》 里親制度・家庭的養育の推進 29,529千円

- ・ 児童養護施設を退所した子どもに対するアフターケア強化のため、新たに2名の自立支援コーディネーターを配置
- ・ 家庭的な環境で5～6名の児童養育を行うファミリーホームを1カ所増設(3カ所→4カ所)

◆ 医療的ケアが必要な児童生徒の受入体制の確保(一部再掲) 133,009千円

- ・ 保育所・幼稚園等において、医療的ケアが必要な児童の受け入れを5カ所で実施(再掲)
- ・ 特別支援学校において、看護師の配置を拡充(16名→17名)
- ・ 小中学校等において医療的ケア支援を行うため、看護師を派遣



ファミリーホーム

健康づくりの推進

31年度予算額
7億38百万円

- ◆ 《新規》 ICTを活用した健康創造都市K O B Eの推進 **84,197千円**
 - ・ 特定健診やフレイルチェック等のデータを一元的に管理する市民PHRシステムを活用した効果的な保健指導を実施
 - ・ 特典との交換等が可能な、個人の健康行動に付与する「健康ポイント」や、ボランティア活動を行う高齢者に付与する「フレイル予防ポイント」の運用を開始
- ◆ 《新規》 任意予防接種費用助成の拡充(再掲) **70,819千円**
 - ・ インフルエンザ：1～12歳児の1回目の接種に対し、1,360円/年の助成額を2,000円/年に拡充
 - ・ ロタ・おたふくかぜ：2019年4月以降の出生児が3歳になるまでの間、ロタまたはおたふくかぜワクチンの接種に対し、2回まで助成(上限2,000円/回)する制度を創設
- ◆ 《新規》 風しん対策の強化 **98,300千円**

抗体保有率の低い世代(1962年4月2日～1979年4月1日生まれ)の男性を対象として、風しんの抗体検査・予防接種に対し、全額を助成する制度を創設
- ◆ 〈拡充〉 健康づくりサポート公園の整備 **10,000千円**

市民の健康づくりをサポートするため、公園に健康遊具を設置(鈴蘭公園)
- ◆ 《新規》 神出山田自転車道のリニューアル **140,000千円**

神出山田自転車道(西区神出町東～北区山田町(つくはら湖))の魅力向上のため、安全快適な走行空間を整備
- ◆ 《新規》 しあわせの村の活性化 **335,000千円**

開村30周年イベントの実施、東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた施設改修(運動広場、体育館)



医療の充実

31年度予算額
23億97百万円

◆〈拡充〉 神戸医療産業都市の推進 1,463,119千円

- ・ 本庶理事長のノーベル生理学・医学賞受賞を契機とした研究開発の推進
- ・ 次世代医療開発センター（仮称）の整備に向けた検討
- ・ 国際義肢装具協会（ISPO）世界大会2019 特別企画の開催 等

◆《新規》 難病患者支援の充実 20,280千円

難病患者の相談体制の充実をはかるため、難病相談支援センターを設置

◆《新規》 看護大学の法人化 913,302千円

独立行政法人化により、自律的・効率的で透明性の高い大学運営を実施



神戸医療産業都市（イメージ）



次世代医療開発センター（仮称）（イメージ）

高齢者のしごとづくり

31年度予算額
2百万円

◆〈拡充〉 シルバーパワーによる地域の担い手づくり 2,136千円

地域の高齢者が地域の高齢者等を支えるモデル事業として、認知症の方等の金銭管理を行う生活支援業務に地域で眠るシルバーパワーを活用

認知症の人にやさしいまちづくりの推進

31年度予算額
2億40百万円

◆《新規》 認知症「神戸モデル」の実施 204,788千円

- ・ 早期受診を支援する診断助成制度の実施（2019年1月開始）
- ・ 認知症の方が事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の開始
（最高2億円の賠償責任保険、24時間365日対応のコールセンター、GPSによるかけつけサービス、最高3,000万円の見舞金）

◆《新規》 専門医療相談窓口の設置 35,000千円

認知症と診断された後の患者及び家族に対する生活支援の相談機能を強化するため、認知症疾患医療センターに専門医療相談窓口を設置



介護保険施策の推進

31年度予算額
10億9百万円

◆《新規》 介護人材確保の推進 15,129千円

- ・新規採用介護職員の確保をはかるため、採用後3年間、法人が負担する住居手当支給額の一部を補助
(法人負担額の1/2、1人あたり上限14,000円/月)
- ・神戸市高齢者介護士認定制度の合格者に対するキャリアアップ支援金の支給(月額10,000円/人、最長5年)及び受講促進

◆〈拡充〉 介護保険料の負担軽減 993,712千円

消費税率引上げに伴い、低所得者の介護保険料を軽減

見守り体制の再構築

31年度予算額
4億62百万円

◆〈拡充〉 障害者支援センターの設置 456,953千円

障害者の相談・見守り拠点となる「障害者支援センター」を増設(4カ所→7カ所)
(2018年度開設: 灘・兵庫・垂水・西、2019年度開設: 中央・須磨・北)

◆〈拡充〉 災害時における重度障害児者対応の強化 5,345千円

在宅重症心身障害児者のうち医療的ケアが必要な方の「個別災害時支援計画」を作成

障害者施策の総合的な推進

31年度予算額
8億29百万円

- ◆ 〈拡充〉 障害者支援センターの設置(再掲) 456,953千円
障害者の相談・見守り拠点となる「障害者支援センター」を増設(4カ所→7カ所)
(2018年度開設: 灘・兵庫・垂水・西、2019年度開設: 中央・須磨・北)
- ◆ 《新規》 障害者の多様な働き方の創出 5,000千円
垂水駅前地区をモデル地区として、東京大学・社会福祉法人等からなるプロジェクトチームを設置し、まちのにぎわいづくりも視野に入れた障害者の超短時間雇用を促進
- ◆ 《新規》 精神障害者医療費助成の創設 15,000千円
急性増悪時の適切な入院加療を促すため、精神科病院への入院医療費を一部助成
- ◆ 〈拡充〉 障害児通所支援事業の指導・監査体制の強化及び質の向上(再掲) 17,123千円
 - ・ 障害児通所支援事業の適切な運営のため、実地指導・監査体制を強化
 - ・ 事業所の自己評価公表ページに容易にアクセスできるポータルサイトの作成・運営
- ◆ 《新規》 しあわせの村の活性化(再掲) 335,000千円
開村30周年イベントの実施、東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた施設改修(運動広場、体育館)



暮らしの安心

31年度予算額
4億10百万円

- ◆ 〈拡充〉「スマートスマホ都市KOBÉ」の推進(再掲) 8,500千円
スマホ依存防止のため、啓発アニメ動画を作成し、スマホ3ヵ条の普及・啓発を実施 等
- ◆ 〈拡充〉公園照明灯LED化 73,273千円
ESCO事業を活用した公園照明灯約10,000灯のLED化を実施
- ◆ 公園トイレの環境改善 320,000千円
公園トイレ約210棟を計画的に改修(2017~2020年度)
- ◆ ドローン等のICTを活用したシカ対策 7,792千円
ドローンやリアルタイムGPS首輪を活用したシカの生息調査



貧困の連鎖防止

31年度予算額
11百万円

- ◆ 《新規》生活保護制度の適正実施 10,700千円
 - ・生活保護受給者の健康課題を分析し、データヘルス計画を策定
 - ・生活保護受給者の自立支援、ケースワーカーの負担軽減となるツールを企業と共同開発

生活衛生環境の向上

31年度予算額
1億35百万円

- ◆《新規》 西神斎場再整備の検討 5,062千円
火葬炉更新にあわせて、民間委託を前提とした斎場再整備に向けた調査を実施
- ◆〈拡充〉 ごみ出しの取組みの推進 129,754千円
 - ・ ひまわり収集（高齢や障害等でごみ出しが困難な方への家庭ごみ収集）の対象拡大（2020年度～）に向けた準備
 - ・ カセットボンベ・スプレー缶を穴あけ不要とする排出ルール変更（2020年度～）に向けた準備 等

再生可能エネルギー・分散型エネルギーの推進

31年度予算額
1億8百万円

- ◆〈拡充〉 水素スマートシティ神戸構想の推進 84,250千円
水素の潜在需要調査、供給体制構築にかかる事業化可能性調査 等
- ◆ KOBEストップthe食品ロス運動 7,434千円
小売店舗におけるフードドライブの実施、食品ロス削減に向けた情報発信 等
- ◆《新規》 太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理 16,460千円
太陽光発電施設の新規設置にかかる許可及び届出審査、既存施設の設置者に対する指導を実施



太陽光発電（イメージ）

神戸らしいまちなみ・景観の保全

31年度予算額
48百万円

◆《新規》 緑化・飾花の推進 22,000千円

- ・ まちの価値向上のため、花と緑のプロモーションを展開
- ・ 駅前空間や新庁舎周辺に花壇等を整備

◆ 歴史的建築物の保存活用 25,500千円

- ・ 保存・活用に向けた設計、補強計画の策定（岡方倶楽部・旧駒ヶ林保育所）
- ・ 茅葺民家における維持管理計画作成の検討、民間支援制度を活用した保全活用事業の検討



岡方倶楽部

自然共生社会の実現

31年度予算額
77百万円

◆《新規》 森林環境譲与税の活用 62,000千円

- ・ 今後の森林保全や木材活用、人材育成などについての事業計画を策定
- ・ 地域団体等が行う里山整備にかかる費用を補助
- ・ 荒廃した森林の再生や防災機能強化のため、森林整備を実施
- ・ 発生材の利活用を推進

◆〈拡充〉 生物多様性の保全の推進 14,751千円

ニホンイシガメの保全活動の強化、60年前の水辺の生きものマップの作成 等



災害に強い都市づくり

31年度予算額	137億96百万円
30年度2月補正予算額	13億12百万円

- ◆ 《新規》 阪神・淡路大震災25年関連事業 171,727千円
 - ・ 市民の防災意識を高めるため、神戸・防災「そなえとう」プロジェクトとして意識調査、防災教育・啓発等を実施
 - ・ 震災追悼事業として、1.17のつどい、神戸ルミナリエを開催

- ◆ 危険ブロック塀撤去・生垣緑化助成 51,974千円
 - ・ 人の往来のある道や公園等に面している危険ブロック塀等の撤去費用の一部を補助（補助率2/3、上限20万円 等）
 - ・ 個人住宅等の道路に面した土地における生垣化等の緑化に要する経費の一部を補助（補助率2/3、上限10万円 等）

- ◆ 《新規》 異常高温対策 120,325千円
 - ・ 都心部におけるクールスポットの設置
 - ・ メリケンパークにおけるミスト装置の設置、須磨海岸における海水浴期間中の日よけテントの設置
 - ・ 打ち水の取組みを推進（こうべ打ち水大作戦PR事業） 等

- ◆ 《新規》 避難所の環境整備 435,320千円 [うち30年度2月補正:111,000千円]
 - ・ 停電時における避難者の情報端末の充電等に対応するため、緊急避難場所となる市立小学校へ充電バッテリーを整備
 - ・ 災害時に避難所となる学校体育館等に空調を整備
 - ・ 災害時に避難所となる体育館の空調整備に向けた設計（王子スポーツセンター身体障害者体育館、東灘体育館、須磨体育館、西体育館）

- ◆ 〈拡充〉 市街地の無電柱化推進 1,404,460千円

災害時の安全な交通網確保のため、市街地における緊急輸送道路等の無電柱化を推進

- ◆ 《新規》 土砂災害対策の推進 15,000千円

崩壊の危険性がある擁壁等の撤去・応急対策にかかる費用の一部を助成（補助率2/3、上限100万円）

◆〈拡充〉 道路防災対策の推進 1,082,000千円

国道428号（箕谷北）のトンネル整備検討、六甲山エリアの法面对策 等

◆〈拡充〉 河川災害対策の推進 107,000千円

未改修河川の浸水対策として、ため池や調整池を整備（鎌ヶ谷川、烏原川）

◆《新規》 高潮・津波対策 10,430,400千円 【うち30年度2月補正:1,201,000千円】

- ・防潮堤等の補強・嵩上げ、鉄扉等の遠隔操作化
- ・東川崎地区における新規ポンプ場の整備、高潮時に内水圧のかかる雨水幹線の構造強化
- ・2019年度に公表される高潮浸水想定に基づき、高潮浸水時の避難計画策定に向けた調査を実施 等

◆《新規》 消防力の強化 255,500千円

- ・西神南地区に消防出張所を整備（2021年度供用開始予定）
- ・消防庁舎の津波・高潮被害を防ぐため、止水板整備等の浸水対策を実施（水上消防署等）
- ・土砂災害現場等における消防力の強化をはかるため、災害用重機を整備

◆《新規》 消防団の充実・強化 25,000千円

市街地の消防団に資器材搬送車両を新たに配備

◆《新規》 外国人観光客の災害時の対応 4,000千円

- ・国内外からの観光客向けに「観光危機管理マニュアル」を作成
- ・外国人への情報発信をテーマとした災害対応訓練を実施

◆《新規》 災害救助基金の設立 1,000,000千円

災害時に円滑かつ迅速に救助を行うことができる救助実施市の指定を受けるにあたり、災害救助基金を設立

◆〈拡充〉 災害時における重度障害児者対応の強化(再掲) 5,345千円

在宅重症心身障害児者のうち医療的ケアが必要な方の「個別災害時支援計画」を作成



時代の変化に対応したまちづくり

31年度予算額
10億80百万円

- ◆ 《新規》 市制130周年記念式典 10,000千円
市政功労者表彰、有識者による記念講演の開催 等

- ◆ 《新規》 神戸版タワーマンションマネジメント制度創設検討 5,000千円
持続可能なタワーマンションの実現に向けた「神戸版タワーマンションマネジメント制度」の創設を検討

- ◆ 《新規》 駅舎の美装化・駅前空間の魅力向上 296,824千円
 - ・ 市内鉄道駅における駅舎の美装化及び駅前周辺の整備
 - ・ 地下鉄駅舎の美装化（名谷・西神中央・三宮）
 - ・ 駅前空間のにぎわい創出のための取組みをモデル的に実施

- ◆ 《新規》 駅前の再整備検討 79,000千円
 - ・ 駅前空間を魅力あるものとするため、市全域における駅前空間再整備の検討
 - ・ 新神戸駅前広場の再整備（2023年度供用開始予定）
 - ・ 新長田駅前広場の再整備検討（バスロータリー等）
 - ・ 西鈴蘭台駅前の再整備検討（道路・広場等）

- ◆ 《新規》 垂水駅周辺の公共・公益施設の再配置 62,600千円
 - ・ 老朽化が進む垂水体育館と垂水勤労市民センター一体育室の集約・再整備に着手（2022年度供用開始予定）
 - ・ 垂水体育館・旧垂水養護学校跡への中核的医療施設の整備を検討

◆ 鈴蘭台まちづくり検討(鈴蘭台幹線) 158,664千円

鈴蘭台幹線北区間(540m)の整備に合わせた周辺まちづくりの検討 等

◆ 民間再開発 467,600千円

- ・ 北鈴蘭台駅前地区市街地再開発事業の推進
- ・ 垂水中央東地区市街地再開発事業の推進
- ・ 湊川公園北地区優良建築物等整備事業の推進



北鈴蘭台駅前(イメージ)

完成予想スケッチ



垂水中央東(イメージ)

市街地西部地域の活性化

31年度予算額
51億59百万円

- ◆ 《新規》 新長田合同庁舎の整備 4,267,873千円
 - ・ 合同庁舎の整備により、本庁舎及び区役所の税部門を集約、あわせて県市合同窓口を設置
 - ・ 2019年10月の供用開始に向け、案内サインを整備 等
- ◆ 《新規》 県市が連携した市街地西部活性化の推進 862,000千円
 - 中央卸売市場西側跡地において、兵庫県が予定している「県庁発祥の地整備事業」との連携（市有地貸与）
- ◆ 地下鉄海岸線中学生以下無料化社会実験 18,880千円
 - 沿線への子育て世帯等の交流・流入・定住促進をはかるため、中学生以下無料化社会実験を継続実施
- ◆ 〈拡充〉 地下鉄海岸線活性化策 7,200千円
 - 地下鉄海岸線の乗客増加のために、車両等を活用したこども向けイベントを実施 等
- ◆ アーティスト・クリエイター等の活動拠点整備支援 3,000千円
 - 市街地西部地域の魅力向上をはかるため、アーティスト等のスタジオ・アトリエ・事務所等の開設を支援



新長田合同庁舎（イメージ）



地下鉄海岸線おもちゃ箱列車

計画的開発団地のリノベーション

31年度予算額
30年度2月補正予算額

2億17百万円
1億24百万円

◆《新規》 名谷エリアの活性化(一部再掲) 207,000千円 [うち30年度2月補正:124,000千円]

市有施設を活用した働く場と地域活性化の場の整備、駅前再整備計画の策定 等

◆《新規》 西神中央エリアの活性化 72,000千円

- ・ 西区新庁舎、文化・芸術ホール、(仮称)新西図書館の整備
- ・ 西神中央駅から西区新庁舎や文化・芸術ホール等への歩行者動線の検討
- ・ 中央広場(プレんティ広場)の利活用の検討
- ・ 乳幼児一時預かり施設の整備
- ・ 近隣センターのリニューアル(かりばプラザ等)

◆《新規》 官民が連携した住み替え促進 5,000千円

名谷・西神中央地区において官民連携による中古物件の流通促進をはかる協議会を設置

◆《新規》 市営住宅等を活用した市内移住促進 57,350千円

市営住宅等の空室を活用した若年世帯向け住戸の提供や、転居者への引越し補助の実施



〔西神中央エリア〕
文化・芸術ホール(500席程度) (イメージ)



〔西神中央エリア〕
中央広場(プレんティ広場) (イメージ)

空家空地対策の推進

31年度予算額
3億23百万円

1 老朽危険空家等の解消

- ◆ 《新規》 老朽空家等解体補助の創設 213,000千円
一部腐朽・破損のある老朽空家等に対して、解体工事費用を助成（補助率1/3、上限50万円）
- ◆ 〈拡充〉 保安上危険な空家に対する解体除却補助の拡充 12,000千円
保安上著しく危険な空家に対して、解体工事費用を助成（補助率1/2→2/3、上限60万円→80万円）
- ◆ 管理不全の空家空地の改善促進 9,745千円
 - ・管理不全の空家・空地に対して、空家特措法等に基づく改善指導を実施
 - ・改善に取り組む所有者に対して、応急措置や立木の伐採等の費用を助成

2 空き家・空き地の有効活用

- ◆ 〈拡充〉 空き家リフォーム支援 7,333千円
地域利用する空き家の改修費補助について、既存の全体改修費補助に加え、補助要件を緩和した部分改修費補助を新設（全体改修：10年以上利用・上限233.3万円、部分改修（新設）：水回り設備等・年数制限なし・上限50万円）
- ◆ 《新規》 子育て支援リノベーション住宅取得補助制度の創設（再掲） 27,400千円
子育て世帯が中古住宅を取得した場合のリノベーション費用を補助（補助率1/2、上限50万円（市外転入の場合70万円））
- ◆ 《新規》 産業団地従業員の市内への移住促進 37,002千円
産業団地内の企業の従業員を対象に、市内移住を促進するための助成制度を創設（20万円/人）
- ◆ 〈拡充〉 空き家・空き地の活用支援 16,816千円
「空き家・空き地地域利用バンク」を通じたマッチング支援、隣地統合や空き地の地域利用支援の拡充 等

農村地域等の持続的な発展

31年度予算額
3億4百万円

◆《新規》 里山「しごとつくる」プロジェクト 19,320千円

里山起業スクールを開設するとともに、就農シェアハウスや里山起業拠点の整備助成制度を創設し、農村地域での就農・起業を支援

◆《新規》 里山資源のフル活用による農村地域の持続的な発展 6,250千円

- ・耕作放棄地や所有者不明となりうる農地を活用する際の簡易な整備や設備導入を支援
- ・但馬牛の安定確保をはかるため、但馬牛の繁殖に新たに取り組む畜産農家に対する繁殖雌牛導入助成を創設
- ・家畜糞尿のメタン発酵処理に取り組む畜産農家に対する小型バイオガスユニット導入助成を創設

◆《新規》 農業施設の再整備 104,705千円

- ・六甲山牧場において神戸ビーフの素となる但馬牛の飼養施設及び観光牧場を整備
- ・直売所・ワイナリーを核とした「食と農の交流拠点」として、農業公園を再整備するため、計画を策定

◆《新規》 農業生産基盤施設の防災減災強化 33,750千円

ため池の実態調査の実施、ため池の補修・廃止への補助制度の拡充

◆《新規》 神出山田自転車道のリニューアル(再掲) 140,000千円

神出山田自転車道(西区神出町東～北区山田町(つくはら湖))の魅力向上のため、安全快適な走行空間を整備



北区淡河町

地域における交通利便性の確保

31年度予算額
4億29百万円

- ◆ 《新規》 ビッグデータを活用した新たな交通政策の検討 25,000千円
位置情報データ等を基に移動実態を把握する手法を確立し、需要に合った持続可能な公共交通のあり方を検討
- ◆ 《新規》 北神急行線と市営地下鉄の一体的運行の検討
北神急行線の運賃低減をはかるため、市営地下鉄との一体的運行を検討
- ◆ 〈拡充〉 交差点等における交通円滑化・安全対策 46,500千円
 - ・ 加納町3丁目交差点の歩行者動線を改善
 - ・ 京橋ランプ出口の安全対策のため、道路改良を実施
- ◆ 〈拡充〉 慢性的な渋滞対策 36,000千円
垂水区小東山6丁目交差点及び北区皆森交差点周辺における渋滞解消策の実施
- ◆ 《新規》 市バス「乗継ステーション」の設置 10,000千円
利用者の利便性向上をはかるため、乗り継ぎするバス停の環境を改善
- ◆ 公共交通網の維持充実 296,992千円
 - ・ 「神鉄シーパスワン」「神鉄シーパスワンplus」の継続実施
 - ・ 地下鉄西神・山手線と阪急神戸線との相互直通運転を含む今後の交通ネットワークのあり方についての調査・検討
 - ・ コミュニティバス導入に向けた専門家の派遣、試験運行や本格運行等の地域の主体的な取組みを支援
- ◆ 《新規》 JR神戸駅前における地下タワー式駐輪場整備 15,000千円
駐輪場が不足しているJR神戸駅前の放置自転車対策のため、地下タワー式駐輪場を整備（測量設計）



北神急行

地域における協働の推進

31年度予算額
65百万円

◆ 神戸ソーシャルブリッジ 18,709千円

社会貢献活動への参画を希望する人材と地域社会の課題解決に取り組む団体をつなぐ事業等を展開

◆ 《新規》 在住外国人支援の充実(一部再掲) 46,056千円

- ・ ポータルサイトの構築によるワンストップ情報発信、区役所におけるタブレットを活用した通訳支援、ごみ分別アプリの多言語化
- ・ 在住外国人支援の拠点施設を長田区のふたば学舎内に設置し、在住外国人の生活支援や日本人と外国人との交流を推進
- ・ 日本語学校と連携し、外国人留学生の国民健康保険料の納付を円滑化



神戸ソーシャルブリッジ



在住外国人交流事業

芸術・文化・スポーツを楽しむまちづくり

31年度予算額
18億65百万円

1 芸術・文化

- ◆ **〈拡充〉「KOBEミュージックポート～秋の音楽祭～」の開催** 24,000千円
神戸にゆかりのあるトップアーティストによる音楽体験プログラムを実施する等、フルートをはじめとした「音楽のまち神戸」の発信
- ◆ **〈拡充〉「アートプロジェクトKOBE2019:TRANS-」の開催** 150,000千円
新開地や兵庫運河、新長田等の街中で、現代アート作品の鑑賞を楽しむ芸術祭を開催
- ◆ **《新規》小学生を対象としたプロの音楽の体験プログラム** 20,580千円
市内の全小学生を対象に、プロの音楽に触れるプログラムを企画・実施
- ◆ **《新規》著名な音楽家と連携した高質な音楽コンサートの開催支援** 32,000千円
ベートーヴェン生誕250年を記念したコンサートを開催する等、市民が質の高い音楽に触れる機会を提供
- ◆ **《新規》市立博物館の魅力アップ** 32,251千円
・博物館の夜間ライトアップを一新するとともに、試験的に通年での夜間開館を実施
・博物館の入館料について、高校生以下を無料とし、大学生を一般料金の半額とする特別料金を設定
- ◆ **《新規》図書館サービスの充実** 443,009千円
・北神地域の市民サービス向上のため、現在の北図書館北神分館を北神図書館として新たに整備
・三宮周辺に予約図書自動受取機を設置するとともに、垂水区北部に新たに予約図書受取コーナーを設置

2 スポーツ

- ◆〈拡充〉ラグビーワールドカップ2019TMの神戸開催 722,318千円
 - ・市内の開催機運を高めるとともに、会場整備や安全対策、観客輸送の体制整備を実施
 - ・国内外からの観戦客に対して、地域全体でのおもてなしや周遊プランの提案を実施 等
- ◆〈拡充〉東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業 147,700千円
ホストタウン関連事業（キャンプ事前視察受け入れ、交流事業）の実施 等
- ◆〈拡充〉ワールドマスタースゲームズ2021関西の神戸開催準備 38,007千円
各種プロモーション活動の実施 等
- ◆《新規》2021年世界パラ陸上競技選手権大会の神戸開催誘致 255,150千円
世界パラ陸上大会開催誘致（ユニバー記念競技場改修計画策定、補助競技場トラック改修等）



市内企業の活性化と雇用環境の充実

31年度予算額
5億26百万円

◆〈拡充〉 人材確保支援 39,563千円

- ・ 中小企業における外国人留学生等の外国人材の獲得支援
- ・ 理科系学生等のものづくり分野における人材の獲得支援
- ・ 高校生・大学生等の地元就職の促進、市域外の学生に対する業界研究会・就職ガイダンス等の開催

◆〈拡充〉 生産性向上支援 270,848千円

中小企業の課題上位にある「生産性向上」「販路拡大」「事業承継」等に対応した取組みの実施

◆ 多様な人材の活躍推進 14,500千円

在宅ワークの推進、キャリアブランクのある女性等の再就職・転職希望者に対する支援を実施

◆《新規》 産学官連携による人材の育成と定着(一部再掲) 27,150千円

- ・ 高等教育機関における外国人留学生の戦略的獲得と定着のためのWEBサイト開設
- ・ 中小企業における外国人留学生等の外国人材の獲得支援(再掲)
- ・ 外国人留学生の動向やリカレント教育のニーズ等に関する調査 等



外国人留学生向け合同企業説明会

◆《新規》 都市型創造産業の集積 17,000千円

- ・ビジネス機会拡大のため、クリエイターと企業の集まる場でマッチング等を実施
- ・海外（台湾）等のクリエイター・企業との交流による新規ビジネスの創出

◆《新規》 食ビジネスのスタート支援 5,450千円

若者の神戸での起業と定着支援のため、キッチンカー改修費の補助、出店場所の提供等を実施

◆〈拡充〉 商店街・小売市場の活性化 135,340千円

- ・商店街におけるキャッシュレス決済導入支援、ラグビーワールドカップを盛り上げるためのイベント等を支援
- ・商店街・小売市場において活性化と人口増に資する建替等を実施する場合に、空き店舗への移転費を補助

◆〈拡充〉 水素産業への参入促進 16,600千円

水素分野における中小企業の研究・開発・実証を補助、人材育成や事業計画の策定等を支援



東京での新たなプロモーションの展開

31年度予算額
84百万円

- ◆ 《新規》 新たな情報発信・誘致拠点の設置 3,000千円
東京での新たな拠点をコワーキングスペースに設置し、神戸の情報発信や神戸の企業と東京の企業とのマッチングを実施
- ◆ 《新規》 神戸版地域おこし協力隊 12,000千円
北区・西区の里山地域に東京圏等から若者に移住してもらい、地域おこし支援や住民の課題解決の支援を実施
- ◆ 《新規》 東京圏からの移住者への支援金支給 30,000千円
東京圏から神戸市内へ移住し、中小企業へ就職または起業した人に対して、移住支援金として最大100万円を支給
- ◆ 〈拡充〉 東京圏に対する移住プロモーションの展開 14,819千円
神戸への就職・移住を後押しするマッチングイベント等の実施、就職支援・不動産関連事業者と連携したプロモーション、WEBサイト等による情報発信等を実施
- ◆ 《新規》 東京圏でのプレゼンス向上を目指した情報発信 20,000千円
東京圏の若者に対し、神戸への関心と憧れを醸成する広報活動を実施
- ◆ 〈拡充〉 東京圏でのネットワークづくり 4,000千円
神戸と接点を持つ人材のコミュニティ形成を目指す「Kobe Lab」等の実施や、神戸の学校等の同窓会を通じたネットワークづくりを展開



Kobe Lab

革新的な起業・創業支援、成長産業の集積

31年度予算額
17億77百万円

◆〈拡充〉神戸医療産業都市の推進(再掲) 1,460,119千円

- ・本庶理事長のノーベル生理学・医学賞受賞を契機とした研究開発の推進
- ・次世代医療開発センター(仮称)の整備に向けた検討
- ・国際義肢装具協会(ISPO)世界大会2019 特別企画の開催 等

◆《新規》シリコンバレー拠点の設置 2,000千円

シリコンバレーに拠点を設置し、米国のスタートアップの誘致や日本のスタートアップの米国進出支援を実施

◆スタートアップの育成・集積 135,600千円

- ・500 Startupsと連携した起業家育成プログラムの実施
- ・Urban Innovation KOBEの実施及び成果発表の場としてのGovTech Summitの開催

◆〈拡充〉企業誘致の推進 156,009千円

雇用補助の創設など企業拠点移転補助を拡充

◆《新規》ドローンの先行的利活用(一部再掲) 23,000千円

最新技術を用いたドローンを利活用し、民間分野での活用を促進することで、次世代産業の創出等を兵庫県との協調で実現



「食都神戸2020」の推進

31年度予算額
94百万円

- ◆ 《新規》 神戸ビーフを活用した六甲山の活性化(再掲) 87,705千円
六甲山牧場において神戸ビーフの素となる但馬牛の飼養施設及び観光牧場を整備
- ◆ 《新規》 食ビジネスのスタート支援(再掲) 5,450千円
若者の神戸での起業と定着支援のため、キッチンカー改修費の補助、出店場所の提供等を実施
- ◆ 日本酒をテーマとした日本遺産登録 1,000千円
日本酒をテーマに日本遺産の認定申請を行い、関係者と連携したPR活動を実施



市場機能の強化

31年度予算額
13億74百万円

- ◆ 本場施設再整備 590,000千円
本場卸売場棟・仲卸売場棟・冷蔵庫棟の再整備に向けた基本設計、再整備にかかる公有水面埋立事業の着手
- ◆ 市場設備等の老朽化対応 783,923千円
本場：卸売場棟通路舗装補修、東部市場：関連事業所耐震改修、西部市場：食肉機械設備改修 等

観光振興の新たな挑戦の具現化

31年度予算額
90百万円

◆ 《新規》 インバウンド対策(旅ナカプロモーション、コト消費) 87,726千円

- ・ 国別戦略及びターゲットの明確化によるプロモーションの展開
- ・ 神戸ならではの資源を生かした新たな観光コンテンツ開発による観光客誘致の促進
- ・ 観光施設における外国人目線での多言語表記の充実
- ・ 民間による新たなコンテンツ造成等を具体化するための専門家派遣支援

◆ 《新規》 外国人観光客の災害時対応(再掲) 2,000千円

国内外からの観光客向けに「観光危機管理マニュアル」を作成



地域観光資源の整備

31年度予算額
17億31百万円

◆ 須磨海岸エリアの再整備 1,313,075千円

- ・ 須磨海浜水族園再整備事業者の選定・基本協定締結(2023年度リニューアルオープン予定)
- ・ 須磨海浜水族園の再整備に合わせ、海浜公園の再整備を検討
- ・ 須磨海岸再整備事業の実施(中央・東広場整備等) 等

◆ 《新規》 農業公園の再整備(再掲) 17,000千円

直売所・ワイナリーを核とした「食と農の交流拠点」として、農業公園を再整備するため、計画を策定

◆ 《新規》 須磨海づり公園の復旧・魅力向上検討 400,000千円

台風被害で休園中の須磨海づり公園の復旧、民間事業者の参入による魅力向上の検討

◆ 日本酒をテーマとした日本遺産登録(再掲) 1,000千円

日本酒をテーマに日本遺産の認定申請を行い、関係者と連携したPR活動を実施



六甲山・摩耶山の活性化

31年度予算額
5億31百万円

◆《新規》 六甲山・摩耶山の活性化 443,631千円

- ・ 摩耶山上の再整備、六甲山牧場と親和性の高い機能整備に向けた検討
- ・ 急行バスの継続運行によるアクセスの改善、壁面広告・床面表示及び急行バスの車両デザイン等による案内改善
- ・ 宿泊施設等の新設を可能とし、都市型創造産業に資する事務所等の立地に関する規制緩和の着手
- ・ 六甲山上でのインターネット通信環境改善
- ・ 六甲山・摩耶山に関する情報をまとめたポータルサイトを開設
- ・ 六甲最高峰エリア及び布引の滝周辺のトイレ整備 等

◆《新規》 神戸ビーフを活用した六甲山の活性化(再掲) 87,705千円

六甲山牧場において神戸ビーフの素となる但馬牛の飼養施設及び観光牧場を整備



六甲山からの夜景

客船誘致の強化

31年度予算額
15億94百万円

◆《拡充》 客船誘致の強化 1,594,051千円

客船受入環境（無料充電スポット、Wi-fi回線等）の整備、客船やフェリーの大型化に対応したヤード機能の拡充、クルーズ振興 等



外国客船「セレブリティ・ミレニアム」

陸海空の広域交通結節機能の強化

31年度予算額
122億40百万円

◆〈拡充〉 国際コンテナ戦略港湾の推進 6,373,001千円

高規格コンテナターミナルの整備、ハーバーハイウェイ（港湾幹線道路）のETC整備検討 等

◆ 広域幹線道路の整備促進 5,867,002千円

大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）、神戸西バイパス等の整備促進

◆ 神戸空港の運営

2018年4月より関西エアポートグループによる関西3空港の一体運営



神戸港



神戸空港

三宮駅周辺エリア

31年度予算額
7億5百万円

1 バスターミナル関連

- ◆ **新バスターミナル整備に向けた事業化の推進** 215,100千円
 ・ 雲井通5丁目再開発会社に対する補助、バスターミナルの設計の深度化
 ・ 新たなバスターミナルⅠ期事業計画を踏まえたⅡ期事業の検討
- ◆ **《新規》新神戸文化ホールの整備** 32,582千円
 新本庁舎2号館内の新神戸文化ホールの詳細検討を実施 等
- ◆ **新三宮図書館** 2,000千円
 三宮再整備に合わせて移転が予定されている新三宮図書館について、
 運営基本計画を策定 等
- ◆ **《新規》新青少年会館** 1,000千円
 青少年会館の移転に向け、施設の機能や配置等の詳細検討を実施
- ◆ **《新規》葺合文化センター跡地の活用検討** 1,000千円
 葺合文化センターの機能移転に伴い、跡地に地域福祉センター等の整備を検討



三宮バスターミナル・ツインタワー（イメージ）

2 クロススクエア

- ◆ **《新規》「三宮クロススクエア(フェーズⅠ)」の空間創出検討** 101,000千円
 「三宮クロススクエア(フェーズⅠ)」の実現に向けた社会実験の実施
- ◆ **「えき~まち空間」デザイン調整** 22,300千円
 神戸三宮「えき~まち空間」基本計画を踏まえた景観デザインコードの策定

3 駅前広場

- ◆ JR三ノ宮南側駅前広場の整備設計 30,000千円
駅前広場の再整備設計 等
- ◆ さんきたアモーレ広場・サンキタ通りの再整備 12,000千円
阪急ビル東館建替に合わせた、さんきたアモーレ広場及びサンキタ通りの再整備に向けた設計

4 回遊性向上

- ◆ 〈拡充〉 生田川右岸線の機能強化 128,000千円
車線数増など、渋滞対策のための機能強化（詳細設計）
- ◆ 《新規》 新バスターミナル整備に向けたデッキ整備検討 29,000千円
新バスターミナル整備の事業化を見据えたデッキ整備の検討
- ◆ 《新規》 三宮駅周辺歩道橋のエスカレーター整備に向けた設計 8,000千円
三宮中央歩道橋、三宮東歩道橋へのエスカレーター整備に向けた設計

5 周辺エリア再整備検討等

- ◆ 三宮駅周辺のその他再整備検討 28,000千円
サンセンタープラザの再整備検討 等
- ◆ 《新規》 予約図書自動受取機(再掲) 65,207千円
予約した市立図書館の図書を自動で受取できる機器を三宮周辺に設置
- ◆ 《新規》 経済効果の算出 30,000千円
三宮再整備の事業具体化を踏まえた経済効果の算出



三宮クロススクエア（イメージ）

元町駅周辺エリア

31年度予算額
1億51百万円

- ◆ 《新規》 鯉川筋の空間再整備 151,000千円
 - ・ 歩行者空間確保に向けた歩道の拡幅
 - ・ 南京町エリアの観光バス路上駐車解消に向け、乗降場を整備

市役所周辺エリア

31年度予算額
7億94百万円

- ◆ 《新規》 新中央区総合庁舎の整備 684,198千円
 - ・ 文化施設機能を含めた新中央区庁舎の実施設計、本庁舎3号館の解体
 - ・ 磯上公園内における体育施設の整備に向けた基本設計・実施設計
- ◆ 《新規》 本庁舎2号館の再整備 96,000千円

再整備事業者の選定に向けた詳細検討を実施（募集要項作成等）
- ◆ 〈拡充〉 東遊園地の再整備・活性化 13,750千円

東遊園地の再整備に向けた、にぎわい拠点施設の事業者公募、基本設計 等



東遊園地

都心機能の向上

31年度予算額
1億24百万円

- ◆ BRT・LRT導入可能性の検討 13,500千円
連節バス等の本格運行に向けたプレ運行の実施 等
- ◆ ポートアイランドへのアクセス向上 110,000千円
ポートライナー三宮駅のホーム拡張に向けた実施設計、アクセス向上に向けたあり方の検討



連節バス

ウォーターフロント地区の魅力向上

31年度予算額 11億84百万円
30年度2月補正予算額 8億円

- ◆ ウォーターフロント地区の再開発 1,924,200千円 [うち30年度2月補正:800,000千円]
新港第2突堤及び周辺での再開発の事業化の取組み、ポートタワー・中突堤中央ビル・海洋博物館のリニューアル 等
- ◆ 〈拡充〉 税関前歩道橋リニューアル 60,000千円
三宮周辺と新港突堤西地区・みなとのもり公園をつなぐ「渡りたくなる歩道橋」の設計



新港突堤西地区再開発 (イメージ)



税関前歩道橋 (イメージ)

現場対応力の強化による市民サービスの向上

31年度予算額
3億9百万円

◆〈拡充〉 北神区役所の設置 164,718千円

北神支所の区役所への格上げにより、他の区役所と同様の市民サービスを提供（2019年4月）

◆〈拡充〉 区役所総合窓口の拡充 116,674千円

新たに2019年5月から北神区役所、7月から須磨区役所・北須磨支所、8月から兵庫区役所に開設（2016年度：東灘、2017年度：長田、2018年度：北・垂水）

◆《新規》 外部人材の登用(一部再掲) 27,608千円

市民サービスの向上や様々な行政課題の解決に向け、新たに外部人材を登用

・PRプランナー

（戦略PRに知見を有する専門人材の登用により、効果的な広報を推進）

・多文化共生専門員

（日本の文化や制度に精通したベトナム人の登用により、在住外国人支援を強化）

・児童福祉法務専門官

（こども家庭センターへ常勤の弁護士を新規で配置し、虐待等への対応体制を強化） 等



ICT等を活用した業務革新・働き方改革の推進

31年度予算額
12億89百万円

◆〈拡充〉ICTを活用した総合コールセンター運営 154,612千円

AIチャットボット等のICT活用により、市民の問い合わせ手段を多様化

◆《新規》データサイエンスの専門人材の登用(再掲) 5,772千円

データ解析の専門人材を登用し、客観的データに基づく政策立案(EBPM)を推進

◆《新規》申請書作成支援システムの試行導入 35,929千円

窓口等における入力作業を省力化させるシステムを一部の区で試行導入

◆《新規》マイナンバーの活用による市民サービスの向上 339,673千円

- ・申請時来庁方式の導入、コンビニ交付手数料値下げ(例:住民票250円→150円)
- ・区役所・支所・出張所にマイナンバーカードを使って住民票・戸籍謄抄本等の発行ができるキオスク端末を設置
- ・税務署・商業施設等と連携した出張申請の実施 等

◆〈拡充〉郵送・電子申請の対象拡大(行政事務センターへの集約・委託) 34,926千円

区役所での申請手続きを順次郵送・電子化

◆〈拡充〉テレワークの推進 118,963千円

兵庫区役所及び新長田合同庁舎の執務スペースにおける無線LAN環境を整備

◆《新規》学校現場等におけるICTのさらなる活用(再掲) 599,107千円

- ・全校の普通教室への電子黒板・無線LAN等の整備を進め、ICTを活用した学習を推進
- ・さらなるセキュリティ向上・教員多忙化対策として、教員用端末・教育用端末等を更新





